

令和 6 年の熱中症による救急搬送状況

緊急企画室

1. はじめに

消防庁では、平成20年から全国の消防本部を調査対象として、熱中症による救急搬送人員を調査しています。

この度、令和 6 年 5 月から 9 月までの全国における熱中症による救急搬送状況を取りまとめたので、その概要を報告します。

2. 熱中症による救急搬送状況

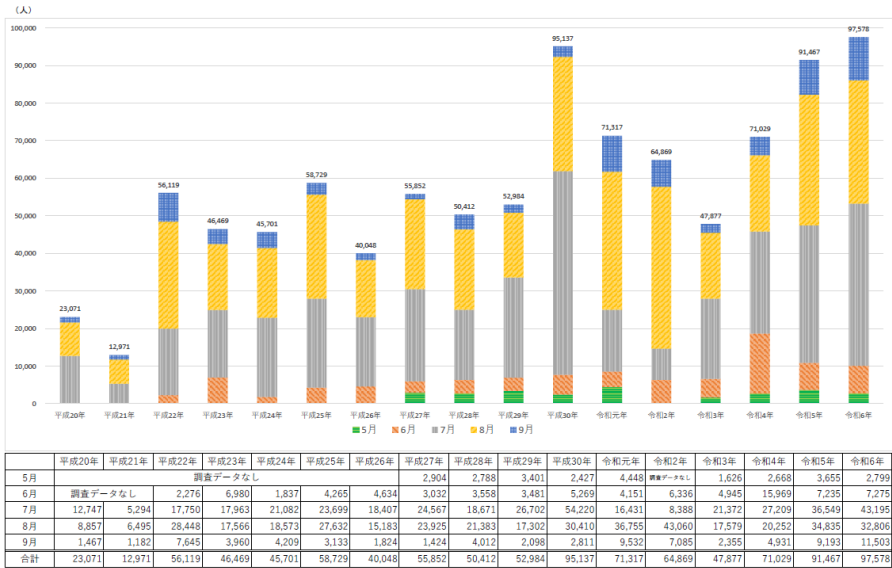
① 救急搬送人員（表 1）（図 1）

令和 6 年 5 月から 9 月までの全国における熱中症による救急搬送人員の合計は97,578人でした。

これは、平成20年の調査開始以降、最も多い搬送人員となっており、昨年度同時期の救急搬送人員91,467人と比べると6,111人増となりました。

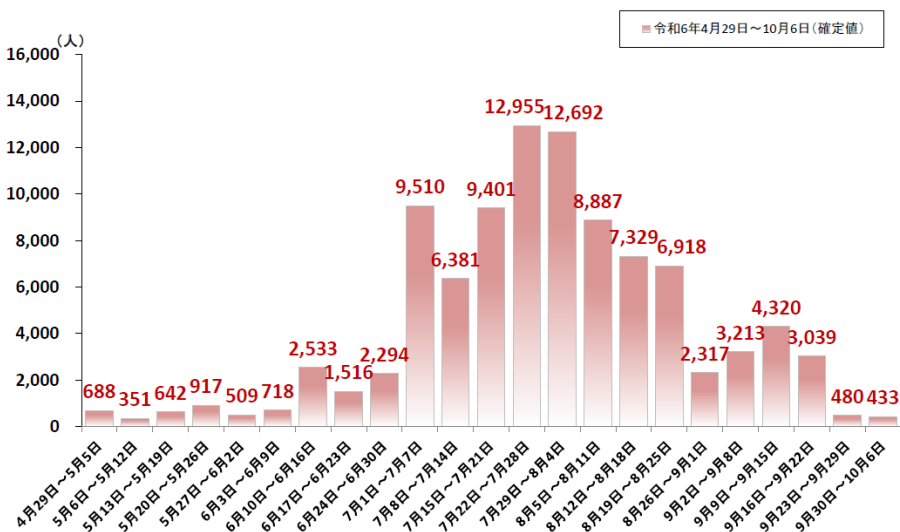
令和 6 年は非常に厳しい暑さが長期間にわたって続き、6 月及び 7 月が過去 2 番目、9 月が過去最多の搬送人員となりました。

表 1 平成20年～令和 6 年の熱中症による救急搬送人員の推移



※ 令和 2 年は新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、調査を 6 月から開始（以下同じ）

図 1 熱中症による救急搬送状況（令和 6 年）「調査開始から各週の比較」



② 年齢区分別救急搬送人員（図2）（表2）

年齢区分別で見ると、高齢者が55,966人（57.4%）で最も多く、次いで成人32,222人（33.0%）、少年8,787人（9.0%）、乳幼児601人（0.6%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和2年～令和6年）

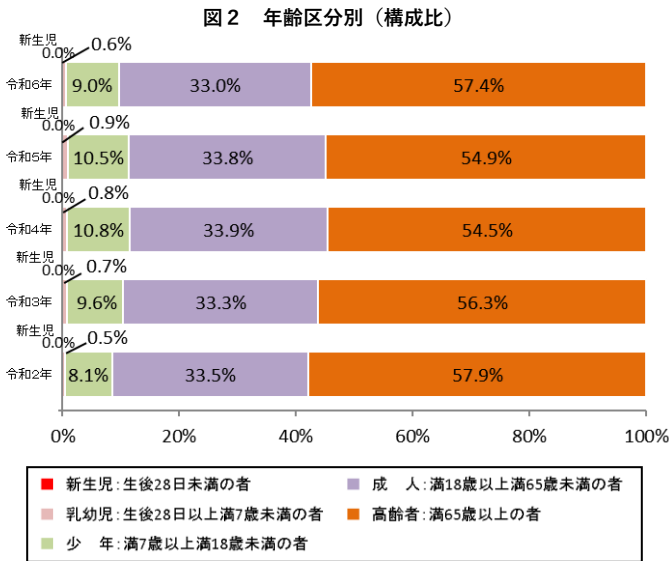


表2 年齢区分別（構成比）

	年齢区分別(人)					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
令和6年	2	601	8,787	32,222	55,966	97,578
	0.0%	0.6%	9.0%	33.0%	57.4%	100%
令和5年	5	796	9,583	30,910	50,173	91,467
	0.0%	0.9%	10.5%	33.8%	54.9%	100%
令和4年	2	566	7,636	24,100	38,725	71,029
	0.0%	0.8%	10.8%	33.9%	54.5%	100%
令和3年	7	359	4,610	15,959	26,942	47,877
	0.0%	0.7%	9.6%	33.3%	56.3%	100%
令和2年	3	329	5,253	21,756	37,528	64,869
	0.0%	0.5%	8.1%	33.5%	57.9%	100%

③ 傷病程度別救急搬送人員（図3）（表3）

初診時における傷病程度別で見ると、軽症が63,718人（65.3%）で最も多く、次いで中等症31,194人（32.0%）、重症2,178人（2.2%）、死亡120人（0.1%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和2年～令和6年）

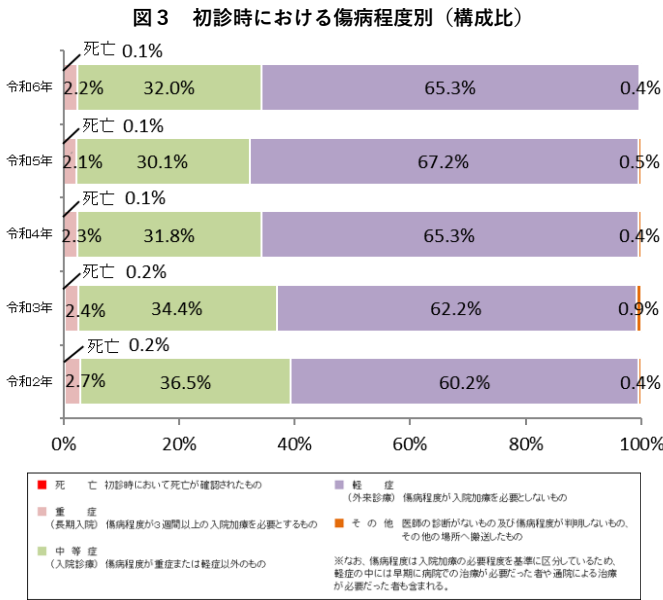


表3 初診時における傷病程度別（構成比）

	初診時における傷病程度別(人)					
	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
令和6年	120	2,178	31,194	63,718	368	97,578
	0.1%	2.2%	32.0%	65.3%	0.4%	100%
令和5年	107	1,889	27,545	61,456	470	91,467
	0.1%	2.1%	30.1%	67.2%	0.5%	100%
令和4年	80	1,633	22,586	46,411	319	71,029
	0.1%	2.3%	31.8%	65.3%	0.4%	100%
令和3年	80	1,143	16,463	29,758	433	47,877
	0.2%	2.4%	34.4%	62.2%	0.9%	100%
令和2年	112	1,783	23,662	39,037	275	64,869
	0.2%	2.7%	36.5%	60.2%	0.4%	100%

④ 発生場所別救急搬送人員（図4）（表4）

発生場所別で見ると、住居が37,116人（38.0%）で最も多く、次いで道路18,576人（19.0%）、公衆（屋外）12,727人（13.0%）、仕事場①9,870人（10.1%）の順となりました。

熱中症による救急搬送状況（令和2年～令和6年）

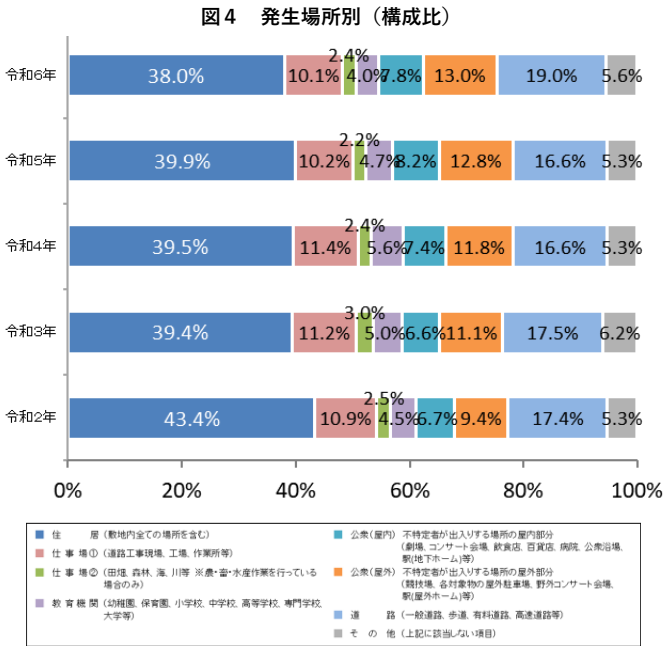


表4 発生場所別（構成比）

	発生場所別(人)								合計
	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆(屋内)	公衆(屋外)	道路	その他	
令和6年	37,116	9,870	2,332	3,885	7,644	12,727	18,576	5,428	97,578
	38.0%	10.1%	2.4%	4.0%	7.8%	13.0%	19.0%	5.6%	100%
令和5年	36,541	9,324	2,013	4,310	7,497	11,742	15,186	4,854	91,467
	39.9%	10.2%	2.2%	4.7%	8.2%	12.8%	16.6%	5.3%	100%
令和4年	28,064	8,127	1,690	3,975	5,248	8,368	11,807	3,750	71,029
	39.5%	11.4%	2.4%	5.6%	7.4%	11.8%	16.6%	5.3%	100%
令和3年	18,882	5,369	1,421	2,404	3,172	5,298	8,378	2,953	47,877
	39.4%	11.2%	3.0%	5.0%	6.6%	11.1%	17.5%	6.2%	100%
令和2年	28,121	7,065	1,599	2,901	4,340	6,130	11,276	3,437	64,869
	43.4%	10.9%	2.5%	4.5%	6.7%	9.4%	17.4%	5.3%	100%

3. 消防庁の取組

消防庁では、熱中症予防啓発として、従来から熱中症による救急搬送人員の調査と公表、「リーフレット」や「ポスター」、「動画」の作成、消防庁ホームページやX（旧Twitter）による情報発信などを通じ、住民の皆様に広く注意喚起を図るとともに、全国の消防本部が行う予防啓発活動を支援してきました。

今年度は、熱中症のリスクが高いとされている、子どもや高齢者への呼びかけをテーマにした熱中症予防啓発ポスターを作成し、都道府県を通じて全国の消防本部へ配布しました。

4. おわりに

今年度の熱中症による救急搬送人員のデータを、熱中症情報サイトで公表しましたので、御活用ください。消防庁では、今後も関係省庁と連携をとりながら、熱中症に関する注意喚起や情報提供を行ってまいります。

消防庁熱中症情報
（予防啓発コンテンツも掲載しています）
<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke01>

問合せ先
消防庁救急企画室
TEL：03-5253-7529